

# ア라운드

## GOGO

# 55

## 一緒に

# 瞳を輝かせて

## 西堂直子



右肩が痛い。左の膝が痛くて曲げられない。加齢により身体のメンテナンスは念入りに行わなければならない。そんなア라운드55。

数年前から友だちと山登りをするようになった。地元で愛される高御位山は標高約300メートル。早朝の山頂は人で溢れている。60代・70代の健脚の方が多くここでは私は若僧。毎朝登っておられる方がほとんどだ。みなさんどんな人生を歩んでこられたのかと勝手に想像している。

私自身を振り返ってみると、今の職場で働くようになって30年。よく続いたなあと思う。学生時代の障害児入所施設でのアルバイトが楽しくて、子どもと関わる仕事を選

択。今でも子どもといるときは理屈抜きに楽しい。

若い頃は保護者と話をするのが苦手だったが、気がつけばお母さんたちがいちばん身近な存在になっている。昨年担任をした児童のお母さんから「子どもの卒業後のことごとでも心配。私たちに何かできることはないだろうか」と相談を持ちかけられた。お母さんは真剣そのもの。エネルギッシュなお母さんたちはまずは5人で親の会を立ち上げた。名前は「デイジーの会」。

花言葉は「希望」「平和」そして「美人」「純潔」だそう。若いお母さんたちらしい命名。何から始めよう…と相談し、学習会に参加したり施設見学に出かけたりしている。「施

設見学に行くとキャリアキャリアアって言われるけど、それは私たちの求めていることとはちよつと違うんだよね」と、お母さんたちはたくましい。「先生が施設を作ってくれたら私たちは安心して天国に行ける」などと言う娘のような年齢のお母さんに「私の方がずつと先にあの世に行かせていただきますから」と応えたが、あとしばらくは健康でいたい。お母さんたちと一緒に瞳を輝かせていたいと思う。

出勤前の山登りはきついで、今年の全国大会後から早朝ウォーキングを始めた。加古川の河川敷を歩きながら毎朝、日の出と高御位山を見上げています。

(兵庫・特別支援学校教員)